

「全国に誇れる・選ばれるまちづくり事業(日本一施策事業)」  
 選定取組一覧(昨年度以前からの継続取組)

[取組の類型]

区分	考え方
① トップクラス (日本でトップクラス)	活動量やその成果などが客観的・定量的に全国でトップクラスにあるもの
② 独自性 (日本で唯一、宇都宮独自)	地域の資源やアイデアを活用し、宇都宮らしさや独創性・独自性があり、「宇都宮オリジナル」や「宇都宮モデル」として全国に誇れるもの
③ 先駆的 (日本で先駆け)	市民ニーズや時代の趨勢を見据え、全国に先駆けて取り組むもの

[取組一覧]

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
<b>&lt;健康・福祉・安全分野&gt;17取組</b>					
1	「コールセンター及びインターネットを活用した集団健診の予約受付」の実施	集団健診の予約受付について、専用ダイヤルによるコールセンターを設置するとともに、インターネットによる「集団健診予約システム」の稼働により24時間の受付を可能とし、働く世代など、市民のライフスタイルに応じた利便性の高い受付を行う。	独自性 先駆的	H28年度	健康増進課
2	健診PR応援事業	特定健診やがん検診等の受診率向上を目的として、市が実施している全ての健康診査の受診者に対し、「健診PR応援企業として市に登録した企業」による特典サービスの提供を行う。	独自性	H26年度	健康増進課
3	子育て世代の託児付き子宮がん・乳がん検診の実施	ボランティアサークルの協力のもと、託児が無料でできるがん検診を実施	独自性 先駆的	H22年度	健康増進課
4	自死遺族支援のためのマニュアルの作成	支援する者が自死遺族に対して適切に支援できるように、遺族への接し方や、保険の手続きなど遺族が行うべき必要な情報などをまとめたマニュアルを作成し、保健師や行政関係職員、民生・児童委員、消防職員、警察官、葬儀社など自死遺族の支援を行う者に配布	先駆的	H26年度	保健予防課
5	食品安全条例の制定	食品の安全確保に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための計画の策定や不良食品を排除するための「自主回収届出制度」などを規定した条例の制定	先駆的	H19年度	生活衛生課
6	医療機関の連携による二次救急医療体制の構築	救急告示医療機関の連携を強化し、新たに協力病院を位置づけ、輪番制病院を支える体制を構築・稼働。円滑な救急医療運営体制を確保するため、財政支援等を実施	独自性 先駆的	H21年度	保健所総務課 警防課
7	保健情報誌「みや健康ナビ」の発行	感染症や食中毒予防など、日常生活に密着した保健情報を提供(年1回発行)。モニター調査員制度により、継続的に意見聴取	独自性	H23年度	保健所総務課
8	大学と連携した「マンガを取り入れた薬物乱用防止啓発冊子」の作成	文星芸術大学と連携し、「マンガを取り入れた薬物乱用防止啓発冊子」を作成	独自性	H27年度	保健所総務課
9	高齢者グループホームにおける国基準を上回る居室床面積の設定	高齢者グループホームの居室の床面積は、国の基準では「7.43㎡以上」としているが、本市では条例で「10.65㎡以上」と規定しており、より広い居住空間を確保(使い慣れた家具等を設置したり、ベッド・車椅子を利用しやすくした。)	独自性	H24年度	保健福祉総務課

[取組一覧]

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
10	妊産婦に対する支援の推進	子どもが欲しいと望んでいるにもかかわらず、子どもに恵まれない夫婦への経済的支援及び安心して妊娠・出産できる支援として、不妊治療費や妊産婦医療費を助成 【不妊治療費助成事業】 ・特定不妊治療(体外受精・顕微授精)費について、上限30万(一部17万5千円)まで助成 ・人工授精治療費について、上限3万2千円まで助成(年1回、通算2年) 【妊産婦医療費助成事業】 ・母子健康手帳の交付を受けた月の初日から出産した月の翌々月(産褥期)までの妊産婦に対し、健康保険が適用となる医療費の自己負担分を助成	トップクラス	H21年度	子ども家庭課
11	障がい児発達支援の推進	・全国に先駆け、子ども発達センターを設置し、保健師や保育士、理学療法士等の専門職により、相談から療育まで一貫して対応。 ・また、保育園併設専用施設において、発達が気になる乳幼児及びその保護者が自由に利用できる広場を開設し、親子の交流の場を提供するほか、親子の遊びや保育園児との交流を通して心身の発達を促すとともに、子育てに関する相談や助言、必要に応じて関係機関への紹介を実施	独自性 先駆的	H19年度	子ども発達センター 保育課
12	障がい者への合理的配慮の提供に係る周知啓発動画の作成・放映	・市民や民間事業者等に対して、障がい者への合理的配慮の提供を促進するための周知啓発動画 ・合理的配慮の具体的事例を障がい種別ごとに全6種類作成し、30秒動画として放映	独自性	H28年度	障がい福祉課
13	国・県・市災害対策連絡協議会の設置	市域における災害の発生時において防災関係機関が連携し、迅速かつ的確な対応ができるよう、自衛隊・警察・県・市・消防で構成する組織の運営と合同訓練の実施	独自性 先駆的	H19年度	危機管理課
14	「イベント開催における危機対策の手引き」の作成	イベントの安全を確保するため、計画・準備段階におけるイベント会場や周辺の事前確認、警備体制、緊急連絡体制の他、イベント当日の巡回警備や注意喚起、危機発生時の具体的な対策を示した「イベント開催における危機対策の手引き」を作成	独自性 先駆的	H28年度	危機管理課
15	グリーンアンドレッドリボン運動	市民や地域、事業者などあらゆる機関、団体が一丸となって飲酒運転を許さない地域づくりを進めるために、GRリボンを交通安全運動や地域イベントなどの機会、事業者、学校などを通して市民に配布することで、飲酒運転根絶に係る気運を醸成	独自性	H18年度	生活安心課
16	消費生活相談窓口の常時開設	年末年始を除き、祝休日にも相談窓口を開設	先駆的 トップクラス	H19年度	生活安心課
17	特殊詐欺対策事業	・市民、警察、事業者等との連携による特殊詐欺対策に向けた「特殊詐欺対策アクションプログラム」の策定 ・重点取組の中で、不審な電話につながりにくくするため、事前に警告メッセージを流す「特殊詐欺撃退機器」の貸与台数は中核市でトップクラス	先駆的 トップクラス	H28年度	生活安心課

[取組一覧]

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
<b>&lt;教育・学習・文化分野&gt;24取組</b>					
1	返還免除型育英修学資金貸付制度	大学, 短期大学, 専門学校(専門課程)の在学者を対象に貸付するもので, 奨学生が, 最終学校卒業後1年以内に本市に居住し, 引き続き, 5年間居住を継続することを要件に, 返還を免除する制度	独自性 先駆的	H27年度	教育企画課
2	宮っ子の誓いの制定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「宮っ子の誓い」カードを市内の全小中学生に配布し, 「宮っ子の誓い大使」等の認定</li> <li>・平成21年度から市内の全中学校に在籍する全ての生徒を対象とした「宮っ子表彰(義務教育9年間皆勤賞)」で表彰を実施</li> <li>・平成25年度には「宮っ子の誓い」に掲げる行動の実践を要件とした「宮っ子心の教育表彰・教育長表彰」の制度を創設</li> </ul>	独自性	H19年度	教育企画課
3	学校応援制度	企業名等を掲載した学校用物品(用紙や封筒など)の寄附を積極的に募集する制度	独自性 先駆的	H22年度	教育企画課
4	学校物品有効活用システムへのポイント制導入	学校物品有効活用システムを使用し, 学校間の物品の貸借や譲り受けによりポイントを付与し, 学校の配当予算に還元 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学校園ごとに保有物品のリストを作成し, システムの利用拡大を推進</li> </ul>	先駆的	H20年度	学校管理課
5	学校応援基金の活用による特色ある学校づくりの推進	<p>学校を特定した寄付金を受け入れるため, 「学校応援基金」を創設し, 地域と一体となった学校づくりを推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「魅力ある学校づくり地域協議会」が基金を設立し, 管理・運営を実施し, 地域の支援による特色ある学校づくりを推進</li> <li>・「魅力ある学校づくり地域協議会」が独自に運営資金を確保できる仕組みづくりに役立つよう, 「学校応援基金ガイドライン」を作成</li> </ul>	先駆的	H21年度	学校管理課
6	地域学校園事務室の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校区を単位とする地域学校園(中学校1校と小学校2~4校)の学校事務職員で構成</li> <li>・地域学校園事務室長を配置し, 共同事務を行うとともに, 学校事務の効率化・平準化や教員の負担軽減, 地域学校園予算の効果的な執行, 職場研修など, 各地域学校園の実情に応じたさまざまな取組を実施</li> </ul>	独自性 先駆的	H24年度	学校管理課
7	「小中一貫教育・地域学校園」の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全ての市立小・中学校で, 小中学校の学びをつなぐとともに地域ぐるみで子どもを育てる小中一貫教育・地域学校園を実施</li> <li>・小中一貫教育カリキュラムを実施し, 各教科等をはじめ, 本市独自の「宮・未来キャリア教育」「宮っ子心の教育」「元気アップ教育」において, 義務教育9年間を通じた系統的な指導を実施</li> <li>・各中学校区の小・中学校で構成する地域学校園において, 地域ぐるみでのあいさつ運動や地域ボランティアによる学校支援など</li> </ul>	独自性	H22年度	学校教育課

[取組一覧]

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
8	スタンダードダイアリーの活用による学校と家庭の連携推進	・児童生徒が連絡帳・生活ノートとして毎日使用するスタンダードダイアリー(児童生徒の生活の指針となる内容や宮っ子の誓い、心を育てる50の言葉、本市ゆかりの百人一首等を掲載)を、本市立小・中学校の全児童生徒に配付・活用することにより、学校と家庭の連携を推進	独自性 先駆的	20年度	学校教育課
9	「通学路交通安全プログラム」に基づく交通安全対策の推進	・ 全国に先駆け策定した「通学路交通安全プログラム」に基づき、教育委員会・学校、道路管理者、警察が合同で通学路の危険個所の点検を行い、対策を講じている。 ・ さらに、本市独自に市内全68小学校の各学校周囲500mをスクールゾーンとして設定し、注意喚起のための路面標示及び看板を設置	独自性	H25年度	学校健康課
10	元気っ子健康体力チェック	全ての児童生徒を対象に、「新体力テスト」を実施し、本市独自に体力テストと食を含めた生活習慣に関するアンケート結果を分析し、児童生徒の体力向上や健康保持に活用する。	独自性	H21年度	学校健康課
11	小・中学校全校及び給食センターへの栄養職員の配置	全市立小中学校で、質の高い給食の提供や食育の指導を進められるよう、栄養教諭・学校栄養職員の未配置校へ、本市独自に学校栄養士業務嘱託員を配置した。	先駆的	H20年度	学校健康課
12	「お弁当の日」の実施	・ 全国に先駆けて全市立小中学校で「お弁当の日」を年2回実施 ・ また、小中9年間の発達段階に応じた本市独自のねらいを設定した上で、お弁当の献立立案や食事について親子で共に考えることを通して、自分の健康や食の大切さについて自ら判断し、実践できる子どもを育成	独自性 先駆的 トップクラス	H20年度	学校健康課
13	宮っ子ステーション事業の推進	学校を拠点に住民等が主体となり、乳幼児期から学童期までの子どもの育ちを一体的に地域ぐるみで支援するなど、宇都宮独自の運営体制を構築 ①子どもの家・留守家庭児童会 対象となる全ての小学校区毎に、小学校敷地内での開設を基本に、放課後児童健全育成事業を実施しており、放課後児童の安全安心な生活の場を確保 ②放課後子ども教室 小学校の余裕教室等を活用した学習や体験交流活動等を実施しており、放課後児童の安全安心な居場所を確保 ③乳幼児と保護者の交流事業 平日の午前中、子どもの家の専用施設を活用した乳幼児とその保護者の交流の場の提供	独自性	H19年度	生涯学習課
14	魅力ある学校づくり地域協議会の設置・運営	・市内全93小中学校区において、①学校運営への参画機能、②学校教育の充実に向けた機能、③家庭・地域の教育力向上に向けた機能を併せ持つ本市独自の運営体制を構築 ・地域住民や保護者による学校経営への参画、地域コーディネーターによる学校支援ボランティアの調整など、学校と地域をつなぐ役割を担任	独自性	H18年度	生涯学習課 学校教育課

[取組一覧]

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
15	教養講座「宮の朝活」の開催 (前期・後期)	多忙で日ごろ講座などに参加できない20代から40代の働き盛り世代や大学生を対象に、早朝の時間を有効に活用し、魅力的な学習機会や体験の場を提供する教養講座を開催。講義前後に名刺交換や朝食をとりながら情報交換を行う時間等を設け、参加者間の交流を促進。	独自性 先駆的	H25年度	生涯学習課
16	「家庭の教育手帳」による家庭における人づくりの推進	・小中学校9年間を通して、家庭教育の充実や学校・家庭の連携促進が図れるよう、家庭で子どもを育てるために必要な年齢期ごとの取組や、小中一貫教育など学校の仕組み、各種手続きの方法などの情報を集約して掲載し、また、子どもの成長記録も一体化させた保護者向け冊子。 ・内容は毎年更新し、市内全小中学校の保護者に配布。	独自性	H22年度	生涯学習課
17	うつのみやこども賞	子どもの読書活動を啓発するため、日本人の作者による新作児童文学作品を対象に、市内の小学5、6年生公募委員が、その年の一番友だちに薦めたい本を選び、賞を授与する事業を日本で唯一実施。	先駆的	S59年度	生涯学習課 (図書館)
18	子どもの読書推進(子どもの読書環境の充実に向けた図書館づくり)	・市立小・中学校全校への学校図書館司書の配置による読書環境の充実。 ・南図書館に学校支援室を設置し、多くの児童に図書に触れてもらう機会を提供する「学校巡回図書」サービスや、学校の要望に合わせて、授業で必要とする資料を貸し出す「学校希望図書」サービスなどを実施。 ・高校生の企画・運営による「高校生のための読書推進事業」の実施や高校生向け読書情報誌「MIYATEEN」発行(中央図書館)	先駆的 トップクラス	H18年度	生涯学習課 (図書館) 学校教育課
19	百人一首のまちづくり	・平成7年の市制100周年を機に本市ゆかりの百人一首市民大会を開催。一般市民を対象とした公的機関が主催する大会としては、全国最大規模 ・平成26年度からは、蓮生記念全国競技かるた宇都宮大会を開催	独自性 トップクラス	H8年度	文化課
20	エスペール文化振興事業	・文化芸術活動が顕著で、今後の活躍が期待できる本市ゆかりの芸術家に賞や育成金を授与し、育成・支援 ・地元の若手芸術家を育成・支援する取組を行っている自治体は稀有	独自性	H13年度	文化課
21	妖精によるまちづくりの推進	・妖精をテーマとした公立展示施設「妖精ミュージアム」を拠点に、妖精資料を活用した文化振興・中心市街地活性化に向けた取組を展開 ・妖精をテーマとした取組は、福島県金山町の「妖精美術館」があるが、当施設は冬季休館であり、通年で楽しめる施設は「妖精ミュージアム」のみ	独自性	H19年度	文化課

[取組一覧]

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
22	冒険活動教室の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を活かした本市冒険活動センターにおいて、宇都宮市立の全小中学校を対象とした独自の自然体験活動、各学校の要望に応じた豊富な活動プログラムを実施(対象:小学5年, 中学1年)</li> <li>・小中一貫教育の一環として、地域学校園内の小学校・中学校の交流や職員連携(23年度～), 小・中学校の活動につながりをもたせたプログラム(25年度～)を実施</li> </ul>	独自性	H8年度	スポーツ振興課
23	特別支援教室(かがやきルーム)の設置及び指導員の配置	<p>通常の学級在籍の発達障がい等の傾向がある特別な支援を必要とする児童生徒に対し、教育的ニーズに応じた支援を行うために、市独自に全93小中学校に特別支援教室(かがやきルーム)を設置するとともに、各校に専任の指導員を配置し、社会性を身に付ける指導や学習指導などを、個別や小集団の形態で実施</p>	独自性	H20年度	教育センター
24	地域のボランティアを生かした不登校児童生徒への適応支援事業の推進	<p>不登校児童生徒の学校復帰への支援を行う「まちかどの学校」において、地域のボランティア約60名の協力により、対象児童生徒一人一人の興味関心に応じたプログラムを設定し、個別活動や小集団活動を実施</p>	独自性	H16年度	教育センター

[取組一覧]

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
<b>&lt;生活環境分野&gt;8取組</b>					
1	もったいない運動の推進	・「もったいない運動市民会議」と連携し、ひと・もの・まちを大切にする本市独自の「もったいない運動」の更なる認知度向上と実践者の拡大	独自性 先駆的	H17年度	環境政策課
2	再生可能エネルギーの利活用の推進(家庭向け低炭素化普及促進補助金)	冬季の日照時間が長いという、本市の地域特性を活かした太陽エネルギーの利活用により、家庭からの温室効果ガス排出量を削減するため、住宅用太陽光発電システムを軸とした自立・分散型エネルギーの利用を促進	トップクラス	H28 (太陽光への補助はH15)	環境政策課
3	環境協定の推進	・市と事業者との間で、環境負荷への低減等に係る協定を締結 ・工場見学会やパネル展示、騒音・振動の測定機器の貸し出しなど	先駆的	H19年度	環境保全課
4	「もったいないの森 長岡」植樹事業	長岡最終処分場第2埋立地跡地に樹林地を再生し、長岡の土地に緑を回復するとともに、再生の方法として、市民参加のイベント形式による植樹活動等を実施することで、市民が、森や緑の役割や大切さを考えるきっかけを提供	先駆的	H20年度	緑のまちづくり課
5	安全で良質な水への取組	・松田新田浄水場において平成17年にISO9001を、水質管理室において平成20年に水道GLPを取得(「ISO9001」と「水道GLP」の両方取得は中核市初) ・塩素臭から見たおいしい水達成率中核市2位に該当(27年度末)(水道事業ガイドライン指標一覧より)	先駆的	H20年度	水道管理課
6	水道施設におけるクリーンエネルギーの導入	・水道施設の機能や特徴を活かしたクリーンエネルギーを導入(太陽光発電設備, 小水力発電設備ともに中核市初) ・再生可能エネルギー利用率中核市1位(27年度末)(水道事業ガイドライン指標一覧より)	先駆的	H19年度	水道管理課
7	水道事業における環境負荷の低減	環境負荷の低減を評価する指標である「配水量1m <sup>3</sup> あたりCO2排出量」の少なさ 中核市1位に該当(27年度末)(水道事業ガイドライン指標一覧より)	トップクラス	H19年度	水道管理課
8	水道料金等の収納率	・水道料金 98.72%(H28中核市1位) ・下水道使用料 97.95%(H28中核市2位)	トップクラス	H20年度	サービスセンター

[取組一覧]

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
<b>&lt;産業・経済分野&gt;7取組</b>					
1	UJIターン起業促進補助金	市外からのUJIターンによる起業者を対象に、事業・生活拠点に関する経費、法人設立経費を補助	先駆的	H20年度	産業政策課
2	宇都宮版CSRの構築	宇都宮CSR協議会により、CSRに取り組む市内企業に対し、「宇都宮まちづくり貢献企業」の認証を希望する企業を募集し、審査・認証	独自性	20年度	商工振興課
3	はじめてごはん事業	宇都宮産米の認知度を高め、米の消費拡大に繋げるため、1歳6か月を迎えた子どもがいる家庭に対して特色ある宇都宮産米と啓発パンフレットを配付する「はじめてごはん事業」を実施	独自性 先駆的	H27年度	農林生産流通課
4	げんきにごはん事業	食育や地産地消の重要性、農業の大切さなどへの理解を深めてもらうため、新たなライフステージに進んだ新小学1年生、新中学1年生とその保護者に対して、宇都宮産のお米セットと啓発パンフレットを配付	独自性 先駆的	H28年度	農林生産流通課
5	おもてなし運動の推進	本市来訪者の満足度向上を図るために、「おもてなし推進委員会」と連携して市民のおもてなしの心の醸成を図るとともに、民間事業者と一体となって受入環境の向上を図る。	独自性	H17年度	観光交流課
6	施設愛称によるプロスポーツ応援事業	本市を拠点に活動するプロスポーツクラブに対する市民の愛着と連帯感の醸成、及び本市のブランド力向上を目指すために、市有施設にプロスポーツクラブ名を冠した愛称を付与	独自性	H21年度	都市魅力創造課
7	ジャパンカップサイクルロードレースの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・26回目となるアジア最高位の自転車ワンデイロードレースである「ジャパンカップサイクルロードレース」と、8回目となる「ジャパンカップクリテリウム」を開催</li> <li>・世界トップカテゴリーの「UCIワールドチーム」4チームに加え、ロードレース界のスーパースターの招聘により、高質なレースを提供</li> <li>・未就学児から一般の自転車愛好家まで、あらゆる世代が観て楽しめる、そして自ら参加しても楽しめる自転車の祭典とするため、『JAPANCUP 輪都 宇都宮 プロジェクト』を始動し、未就学児を対象とした「キックバイク大会」や小中学生を対象とした「ユースロードレース」等、様々な付帯イベントを一体的に展開</li> </ul>	トップクラス	H4年度	都市魅力創造課



[取組一覧]

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
<b>&lt;都市基盤分野&gt;5取組</b>					
1	組合施行による市街地再開発事業の推進	組合施行による市街地再開発事業の完了地区数7地区	トップクラス	S61年度	市街地整備課 (再開発室)
2	大谷石蔵(旧公益質屋)の活用事業	固有の資源である大谷石蔵(築70年超)を民間レストランに活用	独自性	H21年度	地域政策室
3	地域住民が主体となった地域内交通の実施	地域住民が主体となり、運行計画を決定し、地元自治会や企業等から協賛金を募るなど、地域内交通を運営(地域の実情に合わせた独自の運行方式)	独自性	H19年度	交通政策課
4	自転車放置防止対策事業(撤去自転車写真の市HPでの公開)	撤去した自転車を撮影し、その写真と保管場所を市HPで公開。	独自性 先駆的	H27年度	道路保全課
5	「自転車のまち宇都宮」の推進	・プロサイクルロードレースチーム宇都宮ブリッツェンとの連携等により、施策事業を総合的に展開 ・自転車専用通行帯の規制延長が全国一位	独自性 トップクラス	H22年度	道路建設課
<b>&lt;都市経営・自治分野&gt;4取組</b>					
1	まちづくりセンターの設置・運営	地域活動団体や非営利活動団体、企業、行政が適切な役割分担のもと、公共的課題の解決に自主的に取り組む市民協働の拠点施設として設置	先駆的	H23年度	みんなでまちづくり課
2	宇都宮大学での「実践・宇都宮まちづくり」講座	宇都宮大学において、本市職員による講義を実施。市職員が講義の企画・運営から、単位認定まで行う。	独自性 先駆的	H20年度	政策審議室 (市政研究センター)
3	政策特集の作成	市政の重要課題等の特集を組み、広報紙の添付ハガキ等により、市民の意見や提案を聴取(年4回)	独自性	H15年度	広報広聴課
4	宇都宮ブランド戦略事業の推進	・市民参加型都市ブランド戦略「宇都宮プライド」の展開 ・情報発信拠点としてアンテナショップ「宮カフェ」を中心商店街に設置、運営 ・宇都宮の暮らしの良さを伝える「ダブルプレイス(2地域生活)」の発信	先駆的	H20年度	広報広聴課

「全国に誇れる・選ばれるまちづくり事業(日本一施策事業)」  
(過去に選定されていた取組一覧)

No.	取組名	概要	区分	開始年度	除外年度
<b>【過去に選定されていた取組】 45取組</b>					
1	あいさつ運動の展開	本市独自の運動を展開	独自性	H19年度	H24年度
2	「保健福祉部人材育成計画」に基づく計画的な人材育成	市民サービスの向上に直結する「保健福祉行政関連の資格職の育成」を重視し、全国の中核市に先駆けて保健福祉分野の人材育成計画を策定	独自性	H17年度	H24年度
3	文星芸術大学との産学連携による施策・事業の見える化	本市の施策・事業などについて、市民に分かりやすく情報発信を行うため、文星芸術大学マンガ専攻学生の協力を得ながら、全国に先駆けてマンガによる紹介コーナーを市HPに開設	独自性	H21年度	H24年度
4	自殺予防・こころの健康づくり事業ガイドブックの作成及び全戸配布	自殺予防のために、本市独自の「読みやすく理解しやすいガイドブック」を作成し、家族や周りの人達が、自殺のサインを見逃さず、対応方法や各種相談窓口を正しく理解できるよう、配布対象者を限定することなく、全戸配布を実施・独自に作成した冊子(16P)の啓発資料の全戸配布は、全国でも先駆的	独自性 先駆的	H23年度	H26年度
5	光化学スモッグ注意報発令時におけるFAX自動配信の実施	光化学スモッグ注意報について、県から受信した電子メールを自動的にFAX変換し、医療機関を含む52関係機関へ迅速に一斉配信するシステムを、全国に先駆けて構築	先駆的	H22年度	H26年度
6	「宇都宮市生活環境保全推進計画」の策定	市民の良好な生活環境の確保を図るため、全国に先駆けて、生活環境保全計画を策定 ・全7公害と化学物質についての対策を盛り込む。 ・各施策事業ごとの活動目標やスケジュールを明示	先駆的	H21年度	H26年度
7	みんなでごみのないきれいなまちをつくる条例の制定	いわゆる「ごみ屋敷」について、中核市では先駆的な、実効性のある措置命令を盛り込んだ条例を制定	先駆的	H20年度	H26年度
8	建築物耐震改修促進計画の策定	中核市で最も早く策定	トップクラス	H19年度	H26年度
9	学校給食における全小・中学校での食物アレルギー対応	全国に先駆けて「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」を作成し、全児童生徒を対象とした除去食・代替食等の食物アレルギー対策を実施	先駆的	H17年度	H26年度

No.	取組名	概要	区分	開始年度	除外年度
10	宇都宮市学校教育スタンダードにおける義務教育9年間の「到達目標」の設定	宇都宮市学校教育推進計画の内容を各学校が具現化するため、すべての学校が共通して取り組むことを示した「宇都宮市学校教育スタンダード」の中に、新たに、本市学校教育において児童生徒の学力を保障するため、義務教育修了時にすべての児童生徒が身に付けるべき能力や態度を、知(学習面)・徳(生活面)・体(健康体力面)の3つの視点から「到達目標」として示し、本市の目指す人間力を育成・こうした目標の設定は本市独自の取組	独自性	H24年度	H26年度
11	学習内容定着度調査の実施	「学習内容定着度調査」において、小学3年から中学3年の全児童生徒に対し、国語、算数・数学、英語(中学)で実施していたものを、24年度より、小学校5年生以上において社会・理科を加えて実施し、その結果の分析に基づいた学力向上に努めていく	トップクラス	H24年度	H26年度
12	教員マイスター制度の創設	次代を担うリーダーとなる中堅教員の育成を目的として、小・中学校及び特別支援教育を対象に、ベテラン教員が中堅教員と組となり、これまでに培ってきた知恵や技を1年間継続して伝承する、独自の制度を創設	独自性	H22年度	H26年度
13	総合的な青少年自立支援対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立に困難を抱える青少年を社会的自立につなげる具体的な施策事業を展開(青少年自立支援プラン)</li> <li>・青少年自立支援に関する相談窓口、相談・支援事業(青少年自立支援センター)</li> </ul>	先駆的	H20年度	H27年度
14	道路見える化計画の策定	移動性や安全性向上のため対策箇所として選定された路線について、道路行政マネジメント(PDCAサイクル)を実践	先駆的	H19年度	H27年度
15	公共建築物の長寿命化の推進に向けた修繕優先順位判定フローの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員による劣化診断調査結果を基にした修繕計画の策定方式を構築</li> <li>・22年度より、「修繕の緊急度」と「部位・機器の重要度」の二段階の修繕優先順位判定フローに沿った客観的な修繕優先順位付けを行い、計画的・効果的に改修・整備を推進</li> </ul>	独自性	H22年度 (H17年度)	H27年度
16	全小中学校・幼稚園・保育所におけるシックスクール問題への対応	各学校における化学物質の低減など、健康的な学習環境の整備を実施することで、各学校において適切に学校施設の維持管理 化学物質の影響を受けやすい乳幼児向けのマニュアルを全国に先駆けて作成	独自性 先駆的	H18年度	H27年度
17	「食事マナー指導に関する手引」の作成	食事マナーの指導を通して、児童生徒の社会性を育むため、「食事マナー指導に関する手引」を独自に作成	独自性 先駆的	H23年度	H27年度

No.	取組名	概要	区分	開始年度	除外年度
18	外国人児童生徒教育の推進	国際交流協会や宇都宮大学等との連携, 外国人児童生徒の適応状況に応じた指導 ・学期中 初期日本語指導教室(通級指導), 日本語指導者(母語による指導含む)の学校派遣(訪問指導) ・長期休業中 市民団体による日本語教室の開設(委託)	独自性 先駆的	H21年度	H27年度
19	スポーツ大会全国大会出場校応援団への助成	スポーツ大会の全国大会に出場する際, 生徒による応援団を編成した市内の小中学校・高等学校を対象に, 交通費等の一部を本市独自に助成	独自性	H21年度	H27年度
20	オープンデータの公開	行政が保有する公共データを市民・企業の誰もが二次利用可能なルールで, コンピュータが処理しやすい形式により公開する「オープンデータ」を推進することにより, 公共データの新たな活用を促し, 経済の活性化や地域課題の解決, 本市行政の透明性・信頼性の向上などを図るもの	トップクラス	H26年度	H28年度
21	ユニバーサルデザイン文書マニュアルの策定	すべての人に分かりやすい文書・印刷物を作成する指針として, 文字の大きさや配色などの配慮事項を盛り込んだ文書マニュアルを策定し, 各頁に音声コード(SPコード)を掲載	独自性 先駆的	H22年度	H28年度
22	みやシニア活動センターの設置・運営	シニア世代の経験や知識を地域に生かすため, 第2の人生の生活設計や地域活動などの生活設計のアドバイスを実施	先駆的	H20年度	H28年度
23	重症障がい児(者)医療的ケア支援事業	日中活動の場の確保等のため, 医療的ケアが必要な重症障がい児(者)を医療機関や福祉施設などで一時的に預かる事業	先駆的	H20年度	H28年度
24	市庁舎内障がい支援施設等製品販売所「わくわくショップU」の設置	障がい者の就労及び工賃水準の向上を図るため, 市内の障がい者支援施設で製作された製品の販売コーナーを常設	先駆的	H21年度	H28年度
25	「わく・わくアートコンクールinうつのみや」の開催	障がい者のアート作品コンクールで, 入賞作品を市内6か所で巡回展示するほか, 作品を掲載したカレンダーを作成し, 企業等に配布	独自性 先駆的	H22年度	H28年度
26	魅力ある都市景観づくり推進活動費交付金	市民の自主的な景観向上の取組を促進するため, 市民・事業者の活動費を支援対象とするなど本市独自の交付金制度を創設	独自性	H21年度	H28年度
27	平松本町第三地区における「地籍整備型土地区画整理事業」の実施	全国の市町村で初めて, 土地区画整理事業を柔軟に運用した「地籍整備型土地区画整理事業」を実施	先駆的	H22年度	H28年度

No.	取組名	概要	区分	開始年度	除外年度
28	私立等小中学校との連携推進	「みや人づくりカンファレンス」(学校長級),「私立公立学校連絡会」(事務担当者級)を設置し,私立等学校を含めた市内全義務教育学校の相互理解を深め,課題検討のための意見交換を実施	独自性	H22年度	H28年度
29	「防災教育の手引き」の作成	災害発生時に各学校において適切な対応がとれるよう,特に,本県で発生頻度が高い雷や竜巻を含めた指導事例や地震発生時の対応などを掲載	独自性	H25年度	H28年度
30	学校給食による地産地消・食育の推進	学校給食を活用して「地産地消」を推進できるよう,市中央卸売市場等と連携して,本市農産物を生産者等の情報とともに学校へ納入するシステム(うつのみや菜ハイウェイシステム)を市独自で構築	独自性 先駆的	H15年度	H28年度
31	宇都宮市成人式事業に係る広告事業及び協賛制度の導入(新成人応援制度)	・成人式の案内状・プログラムに広告を掲載する広告事業と,中学校区(25学区)ごとの実施委員会が各地域の企業等から協賛を集め,成人式会場に協賛する地域企業等名を印字したポスターを掲示する独自の協賛制度を導入 ・平成25年成人式からは,ポスターを縮小したものを新成人に配布	独自性	H23年度	H28年度
32	家庭教育支援事業の推進	学習機会の提供や,学校・家庭・地域・企業等と連携した支援など,総合的な取組を推進 【講座開催】 ・関係機関や企業等と連携した親学出前講座の実施(19年度～) ・人の集まる場所での親学イベントの実施(24年度～) ・親学スペシャル(全市を対象とした大規模な講演会)の開催(26年度～) 【情報提供】 ・うつのみや親学と子どもの情報誌「こどもるつくる」の発行(年2回)(23年度～) ・家庭の教育手帳の発行(22年度～) 【人材育成】 ・家庭教育支援ボランティア「家庭教育サポーター」養成(22年度～) ・家庭教育支援者との定期的な研修会の実施(27年度～)	独自性	H20年度	H28年度
33	「地域教育メッセ」の開催	地域活動団体,生涯学習団体や市民が,交流しながら活動紹介や情報交換を行う「地域教育メッセ」を開催し,地域活動の活性化や活動機会を創出	独自性	H20年度	H28年度
34	地域教育の推進(地域人材の育成拠点「人材かがやきセンター」の設置)	地域を支える人づくりの拠点を設置し,学校・家庭・地域など活動する場所や活動レベルに合わせた育成事業(Vスタッフ養成や家庭教育サポーター養成講座等)を実施するほか,社会的な課題に対応する先駆的・モデル的な講座も実施	独自性 先駆的	H22年度	H28年度

No.	取組名	概要	区分	開始年度	除外年度
35	多様な市民が集い、宮っこを育む複合拠点「南図書館」の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南図書館の開館にあたって、一部業務に指定管理者を導入し、市職員が資料の選定やレファレンス等の専門的業務、指定管理者が施設管理や貸出・返却等の定型的業務を担う独自の管理運営を行っている。</li> <li>・両者による管理運営を行うことにより、児童書・教育・子育て関連資料の充実や学校支援室の設置、また、民間のノウハウを活かした交流スペースの活用やコンサートの開催、保育士が常駐するプレイルームの運営など、市民サービスの向上と専門的業務の水準を向上させている。</li> </ul>	独自性	H23年度	H28年度
36	図書館における財源確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不用になった図書館資料を、年4回市民に有償で提供</li> <li>・雑誌スポンサー制度(23年度～) 民間事業者等が購入費を負担した図書館雑誌の最新号のカバーに広告を掲載</li> <li>・図書館カレンダー・しおりへの広告掲載</li> <li>・図書館ホームページにバナー広告掲載</li> </ul>	先駆的	H23年度	H28年度
37	学校・地域と連携した文化財保護活動の推進(一学校一文化財保護活動の推進)	学校と地域が協働で瓦塚古墳群や城山のシダレザクラなど文化財の清掃や保護活動等を実施	独自性	H17年度	H28年度
38	宇都宮版準備運動「みや!!元気っ子たいそう」の考案	児童生徒の体力や技能を増強する動きを取り入れた宇都宮版準備運動「みや!!元気っ子たいそう」を様々な機会に活用。小中学校教員が内容構成・撮影を行うとともに、保護者が「宇都宮の歌」を編曲し、西原小学校の児童が出演するなど、関係者の手作りにより指導用DVDを作成	独自性	H22年度	H29年度
39	DV被害者の自立支援事業の実施	DV被害者の「居場所」を整備し、民間支援団体との協働により、被害者とその子どもに対し、自立支援プログラムを実施	独自性 先駆的	H21年度	H29年度
40	「宇都宮市配偶者からの暴力対策基本計画」の推進	DVを社会的な問題としてとらえ、全国に先駆けた取組を展開(中核市初の基本計画、全国の市町村初のDV被害者アンケート、中核市初の中学生へのデートDVアンケート、本市独自の連携組織)	独自性 先駆的	H20年度	H29年度
41	障がいのある人に対する情報バリアフリー推進ガイドラインの策定	障がいのある人が情報を円滑に取得・利用し、意思表示や意思疎通を図れるよう、障がい特性に応じた配慮事項や災害緊急時の対応等を掲載	先駆的	H24年度	H29年度
42	競輪場におけるファミリー型レストランの設置	競輪場来場者のみならず、八幡山公園来園者等も利用でき、競輪観戦ができるファミリーレストランを場内に設置	独自性 先駆的	H21年度	H30年度

No.	取組名	概要	区分	開始年度	除外年度
43	視聴覚ライブラリーの活動	16ミリフィルム教材貸出本数が、全国でトップクラスの活動を展開	トップクラス	H15年度	H30年度
44	ネットワーク型コンパクトシティ構想の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の人口規模・構造や、都市活動に見合った将来の都市像として、本市独自の多核連携型(拠点化、ネットワーク化)コンパクトシティの形成</li> <li>・H26年度に「ネットワーク型コンパクトシティ形成ビジョン」を策定</li> </ul>	独自性先駆的	H26年度(H20年度)	H30年度
45	「スマホ・ケータイ宮っ子ルール共同宣言」に基づく取組の推進	携帯電話等に係る問題から児童生徒を守るため、市PTA連合会、市青少年育成市民会議、市小・中学校長会、市教育委員会で「スマホ・ケータイ宮っ子ルール共同宣言」を策定し(H27.2)、それに基づき、「ノースマホデー」、「フィルタリング設定100%キャンペーン」などの取組を連携して推進している。	独自性先駆的	H27年度	H30年度